

## 第 11 期（令和 8 ～12 年度） 愛媛県分別収集促進計画の概要

### 1 計画策定の意義

容器包装廃棄物の分別収集促進により、適正処理・有効利用の確保を図り、生活環境の保全及び経済の健全な発展に寄与するため容器包装リサイクル法第 9 条に基づき策定

### 2 基本的方向

循環型の経済社会システムの構築を目指し、容器包装廃棄物の排出抑制・分別収集と再商品化の促進・再商品化して得られた物の積極的利用を推進

### 3 計画期間

令和 8 年度～12 年度（3 年ごとに 5 ヶ年計画を策定）

### 4 市町の分別収集計画策定状況【計画最終年度における分別収集実施市町数】

別表のとおり

### 5 再商品化見込（特定分別基準適合物）の量（t）

	第 10 期計画	第 11 期計画	増減（%）
無色ガラス容器	1,634.13	1,399.99	△14.3%
茶色ガラス容器	2,197.94	2,018.25	△8.2%
その他ガラス容器	3,725.12	3,287.24	△11.8%
P E T ボトル	2,930.08	2,906.16	△0.8%
その他紙製容器包装	180	493.00	173.9%
その他プラスチック製容器包装	8,360.00	7,502.20	△10.3%
白色トレイ	13.50	19.10	41.5%

※再商品化見込量は、人口減少により一般廃棄物量全体が減少しており減少傾向

※その他紙製容器包装：雑誌と紙製容器包装を一括計上しているため大幅に増加

### 6 再商品化見込（法第 2 条第 6 項物）の量（t）

	第 10 期計画	第 11 期計画	増減（%）
鋼製容器包装	1,591.72	1,204.98	△24.3%
アルミ製容器包装	1,458.19	1,292.69	△11.3%
段ボール	5,437.61	4,693.55	△13.7%
飲料用紙製容器包装	74.2	58.20	△21.6%

※再商品化見込量は、人口減少により一般廃棄物量全体が減少しており減少傾向

### 7 再商品化見込（プラスチック資源循環法に基づき分別収集するもの）の量（t）

	第 10 期計画	第 11 期計画	増減（%）
製品プラスチック	—	150.70	—

※第 11 期計画から追加

※再商品化見込量＝排出見込量×分別排出率

or 前年度実績（見込）量×人口変動率

### 8 知識の普及等に関する事項

「第五次えひめ循環型社会推進計画」踏まえ、次のとおり取り組む。

#### (1) 排出抑制及び分別収集の促進の意義に関する知識の普及（3 施策）

- ①環境教育・環境学習の充実
- ② 3 R 活動の普及啓発の推進
- ③的確な情報提供

#### (2) 市町相互間の分別収集に関する情報の交換の促進（2 施策）

- ①「県・市町環境連絡会議」の開催
- ②各種情報の提供